

V-3 親への接し方・子育てアドバイス

子育て広場には、今日もたくさんの親子が訪れ、子どもたちの笑い声が響いています。子どもたちは地域の方に見守られながら、元気に遊んでいます。かたわらではお母さんたちが子どもたちのお世話をしている地域の方と話をしています。お母さんたちも子育てについていろいろ悩みがあるようです。

ワーク1 『つい上の子に……』

- お母さんが次のように話しかけてきました。それぞれの場合について考えてみましょう。



うちは下の子がまだ小さいでしょう。どうしても下の子に手がかかっちゃって「お兄ちゃんなんだから、ちょっとぐらい待てるでしょ。」とか、あんまりうるさいとついお兄ちゃんばかりにきつく言っちゃって。こんな風にいつも機嫌よく遊んでくれていると優しくなれるんだけど。家では怒ってばかりで、私って本当にだめですね……。

- あなたならどのように答えますか？吹き出しの中に書いてみましょう。



- グループの人の考えも聞いてみましょう。



ワーク2 『私は子どものために一生懸命やっているのに……』



うちのお姉ちゃんは小学2年生なんだけど、本当に忘れ物が多くて困っちゃうんです。前の日には準備しとくように何度も言ってるし、朝は必ず忘れ物はないかって声をかけてるんですよ。自分でやらせなきゃためにならないって思って手は出さないようにしているんです。本当にどう言っても子どものほうはまったくのんびりで……。私はこの子のことを思って一生懸命やっているのに……。もう、どうしたらいいんだか……。

- お母さんの対応についてどう思いますか。

- あなただったらどのように答えますか。



- * グループの人の考えも聞いてみましょう。
- * 子育て中の親世代は子育てについてどう思っているのでしょうか。アンケートを見てみましょう。

ふりかえり

- 学習を通して、自分の中で感じたことや考えが変わったことがあれば書いてみましょう。